

Classic Nagoya
クラシック名古屋
〒460-0024
名古屋市中区正木西丁目8番7号れんが橋1F
TEL(052)678-5310 FAX(052)678-5330
http://clanago.com

プレイガイド
アイチケット
0570-00-5310

ナゴヤ劇場ジャーナル

◆発行/マネージメント・プロ ◆編集/プランニングオフィス白壁 ◆協賛/クラシック名古屋

MP MANAGEMENT PRO
①舞台イベントの企画制作・マネージメント
②芸術コンサルティング
③タレントのマネージメント
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行

株式会社マネージメント・プロ
〒461-0004 名古屋市中区葵2-11-22 アバンテージュビル305
TEL: 052-508-5095 FAX: 052-508-5097
E-mail: mane-pro@mane-pro.com
HP: http://www.mane-pro.com

「赦し」の稽古風景



公演(夜の部)に10組20人招待

あやまること、そして赦(ゆる)すこと。その尊さを描いたのが、戦争を語り継ぐ演劇公演第6弾「赦し」(作、演出・伊藤敬)である。8月22-25日(全8回)東文化小劇場で行われるこの公演は、名古屋芸術賞特別賞に選出された伊藤敬と、名古屋演劇ペンクラブ賞を受賞した内藤美佐子の受賞記念公演になる。

第2次世界大戦終結から74年、敵対した日本が、世界でも屈指の友好国となつた背景には、こんな民間の交流があったからだ。物語は1959年の名古屋守山区。主人公は、進駐軍のジープに父親を轢き殺され、米人を目の敵にする少女チエ(柴田美月・小林恵)と、米軍の爆撃手として名古屋空襲に参加したジェイク(野畑幸治・上田定行)と、そしてジェイクの爆撃で片腕の自由を失った漫画家志望の青年(中川ひろき・森下敏弘)。物語は彼らの奇跡的な再会と和解を描く。



松本あり(出雲草)

松本あり「語り舞」9月19日に三楽座で

源氏物語の一節を語りながら日本舞踊を踊る、松本あり(出雲草)の「語り舞」。その第10回公演「櫻子のち」が9月19日(午後3時)中村区則武の三楽座(みらくさ)で行われる。演目は「源氏女抄」夕顔」と「お伽草子」鬼のおはなし」。記念公演となる今回は、

25日(午前11時と午後3時)。日時指定自由席、一般3000円、高校生以下2000円。TEL090(3666)8214。△プレゼント▽
22、23日の夜の部(午後6時30分)の公演に各5ペア(10人)を招待する。

新作ミュージカル「パリのアメリカ人」

ダンスで描く青春讃歌



「パリのアメリカ人」(撮影・下坂敦俊)



「パリのアメリカ人」(撮影・荒井健)

9月1日、名古屋四季劇場で開幕

トニー賞4部門を受賞

劇団四季の新作ミュージカル「パリのアメリカ人」が、9月1日から名古屋四季劇場で上演される。戦争で荒廃したパリの街を舞台に、若者たちの清らかな愛情と友情と夢を華やかなダンスと美

しい音楽に乗せてスタイリッシュに、詩情豊かに描く青春讃歌だ。先行公演の横浜で一足先に観劇したが、若者たちが自ら選んだ芸術の道を力強く生きていく姿を戦禍からの復興に重ねた深遠な物語は、観客の心をとらえて離さなかった。

英国ロイヤル・バレエ団で「不思議の国のアリス」などを手掛けた世界的な振付家のクリストファー・ウィールドン、装置・衣装デザインは「リトルマーメイド」などで知られる鬼才ボブ・クローリー。米・トニー賞の振付賞、装置デザイン賞など4部門を受賞した話題作である。

第二次世界大戦直後のパリ。4人の若者、米国の退役軍人で画家を夢見るジェリーと作曲家志望のアダム、フランス人でありながら才能豊かなバレリーナのリスとシヨマンを目指している資産家の息子アンリが歩み出す新たな人生を、恋愛や友情を軸に芸術の力も織り込んで活写していく。

言葉を超えた動きで心情を紡ぐウィールドンの特徴が随所で輝く。クラ

イマックスの14分間ものバレエ場面など趣向に富むダンスの数々が弾む。多彩な音楽や振付、複数のパネルと最新映像技術を融合させた美術、凝った照明や衣装が見事に調和し、ポップで軽やかで洗練されたアートの世界が現出する。

ナチスによる占領の影を残す街や人種差別を示唆する台詞など、戦争の悲惨さや体験者の苦悩も色濃く描き出す。若者たちの夢や希望の中に人生の優しさやほろ苦さも息づく。彼らが葛藤しながらも「自分らしく」選んだ道を力強く進んでいく姿が爽快だ。

ジェリー役の松島勇気は「一生懸命生きる強さと明るさを持つジェリーの人生と成長を誠実に演じている」と語り、リス役の近藤合敏は「堂々とリスを演じるため、自らの内面をもっと磨き、技術的にも表現面でもバレエの美を追求したい」。

ジャズシンガー&ボイストレーナーとして脚光



ジャズシンガーのChia

「ジャンプ」の扉

ジャズシンガーで、ボ

イストレーナーのChia(岐阜市在住)は、NHK、中日などのカルチャーセンターで約2500人の生徒を受け持っている。人気の秘密は、分け隔てのない指導と「ライブハウス体験出演」。今年は11月23、24日、今池のポトムラインで生徒140人が晴れのステージを体験する。

「二人一人に演出を付待する。希望者はA4用紙に代表者の住所、氏名と電話番号を明記し、RW052(508)5097マネージメント・プロへ(8月13日到着分まで有効)。抽選の後、当選者にチケットを郵送する。」

松本の地唄舞の師匠・出雲草が特別出演する。全自由席3500(当日4000)円。TEL090(1282)9972、松本。

「当時音大ではジャズの演奏は禁止されていた。二人一人に演出を付待する。希望者はA4用紙に代表者の住所、氏名と電話番号を明記し、RW052(508)5097マネージメント・プロへ(8月13日到着分まで有効)。抽選の後、当選者にチケットを郵送する。」

N&M 名古屋市青少年ミュージカル
Bon Voyage
～パリの冒険物語～

脚本/演出/音楽(作詞作曲)/振付:高橋 早霧 脚本/脚色/演出/振付:大島 毅
照明:杉浦 清哉 作曲:赤坂 東児

2019.9.22 ≒ 17:30 / 9.23 ≒ 15:00
会場 ● 名古屋市青少年文化センター アートピアホール

チケット ● 全席指定 [前売] ¥3,500 / [当日] ¥4,000 *3歳以上要チケット。
チケット取扱: 名古屋市文化振興事業団チケットガイド ☎052-249-9387(平日9-17時)
お問い合わせ: 一般社団法人 名古屋市青少年ミュージカル 事務局 ☎052-838-8750(平日9-17時) ✉ask_nsm@ns-musical.com

主催: 一般社団法人名古屋市青少年ミュージカル 制作: 株)マネージメント・プロ/一般社団法人名古屋市青少年ミュージカル事務局 後援: 公益社団法人名古屋市文化振興事業団/愛知県教育委員会/名古屋市教育委員会/SAGIRI DANCE & VOCAL ACADEMY

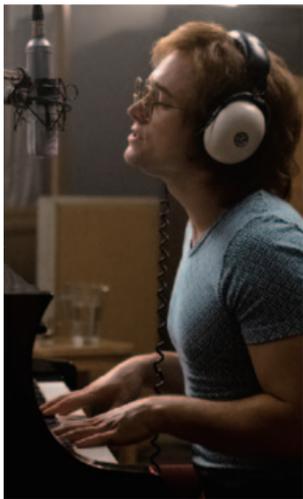
ロケットマン

その独特のキャラクターに拒絶反応を示す人は少なくないが、彼の音楽性に異論を唱える人はいないはずだ。英国出身のシンガー・ソングライター、エルトン・ジョン（1947〜）である。

8月23日からミッドランドスクエアシネマほかで公開される映画「ロケットマン」(デクスター・フレッチャー監督)は、エルトンの少年期から成功までの華やかな音楽人生の表裏を、ミュージカル形体で描いたエンターテインメントだ。

エルトンを演じるのは「キングスマン」で脚光を浴びたタロン・エガートンで、

わたなべこうじマンガ劇場



エルトン役のタロン・エガートン

エルトン・ジョンの栄光と醜聞

エルトン本人は出演してはいない。タイトル「ロケットマン」はアルバム「ホンキー・シャトル」の収録曲。劇中で演奏される22曲は、すべてエルトンの曲である。初めて聴く曲も少なくないが、自然に体がビートを刻む。彼の曲には老若男女の心をとらえる心地よさがある。音楽に天賦の才を見せ

死去の事実とつながる結末

ジョアン・シルベルトを探して

「イパネマの娘」などで知られるジョアン・シルベルトが7月6日、88歳で亡くなった。「ボサノバ」と呼ばれる新たな音楽ジャンルを確立したブラジルで最も有名なミュージシャンの一人だった。そのシルベルトをテーマにしたドキュメンタリー映画「ジョアン・シルベルトを探して」(ジョルジュ・ガシヨ監督)が8月24日から名演小劇場で公開される。

おうとした。この映画はその顛末記である。ちなみにシルベルトは03年に初来日、04年と06年にも来日公演を行った。映画にはシルベルトの元妻、マネージャー、旧友のミュージシャンらが登場し、数多のエピソードを語る。しかし彼の真像はまったく見えてこない。ネタバレしなくなるので詳しくは書けないが、この作品はまったく意外な結末に至るのである。

正直、この作品には人を引き付ける力が乏しい。だがシルベルトの死去という事実がこの映画の価値を高め、集客に貢献するだろう。「イパネマの娘」は私にとっても思い出深い曲である。ボサノバの神様「の冥福を祈りたい。



鈴木真貴子

賞屋音楽ペンクラブの演奏 名受賞者3人が珠玉の演奏 「音環VIII」

9月12日・電気文化会館



金原 聡子



宮田 俊雄

Advertisement for Michel GLASKO's 'Chanson' album, featuring a photo of the artist and a list of songs.

永遠の愛の名シーンに胸熱く

名古屋アトロ

昨年の第1回公演「トゥーランドット」で、劇的なステージを展開した名古屋アトロ管弦楽団/合唱団が、第2回オペラ公演「アンドレア・シエニエ」(ウーナル・シエニエ)のアンコール形式で行った。



ラブルに似ている。アトロもそれを意識してか、合唱団員を群衆に見立て、随所に演劇的演出を加えた。コンサート形式とはいえ、演出家がほしいところではある。革命によって社会や価値観が大きく変化する。マッダレーナをめぐる、シエニエとジェラルドが

悲惨劇を経た楽器の音色に思い馳せ 被爆ピアノ 中川運河沿いに建つ西宮神社境内で、三重県出身のピアニスト中村和枝が、広島で被災した「被爆ピアノ」を奏でた。(6月29、30日)



中村和枝と小田美沙紀(名古屋都市センター)は、被爆ピアノが購入された1920(大正9)年の世をイメージした柔らかな音楽だった。ラストのシューベルト「即興曲集第3番アンダンテ」は、運河の水面の映像とともに美しい印象を残した。(竹本)

近藤、石原の凱旋公演に収穫数多

金澤バレエスタジオ

金澤志保バレエスタジオが創立20周年記念公演「ドン・キホーテ」を開いた(6月20日・市民会館フォレストホール)。同スタジオ出身で、オーストラリアバレエ団のプリンスパルに成長した近藤亜香、同じくサンフランシスコバレエ団ソリストの石原古都が凱旋参加する。開演を待つ客席には期待と高揚感が入り混じった。

「ドンキ」は通しではなく、3つのパートが抜粋され、それぞれが別のキャストで演じられた(振付、ネズ、バートウエーン「幻想曲風ソナタ」、そしてピアノラファエ・マリア)では、広島市生まれで愛知県立芸大出身の小田美沙紀がクラリネットで共演した。今井の新作「ブルーミング」は、被爆ピアノが購入された1920(大正9)年の世をイメージした柔らかな音楽だった。ラストのシューベルト「即興曲集第3番アンダンテ」は、運河の水面の映像とともに美しい印象を残した。(竹本)

県立芸大新人演奏会

愛知県立芸術大学の学部卒業生による「第16回新人演奏会」(6月21日・電気文化会館)に出掛け

声楽、ピアノ、作曲を専攻した6人が出演したがさすがに東海地区芸術部門の最高学府で学んだ人材である。音楽をエ

舞台批評

胸ときめいた世界最高峰のコンテ



6月28日・芸文大ホール「Odyssey」(撮影・羽鳥直志)

ネザーランドDT

速い、激しい、それでいて詩情にあふれ、滑稽で美しく、美しい。コンテ

術監督のポール・ライトフットを筆頭に、優れた振付家が結集。各国から集まるダンサーとともに優れたコンテポラリー

NDTは1959年にオランダで設立。75年にはチェコの振付家イリ・キリアンが芸術監督に就任し、世界屈指のカンパニーとして認知されるまでになっ

ソル・レオンとライトフットが振り付けた「サンギユリエール・オディセ」(34分)だった。駅舎での人の流れを描いたダンス群像劇だが、どうやら行き来する人々や情景は、かつて職員だった男

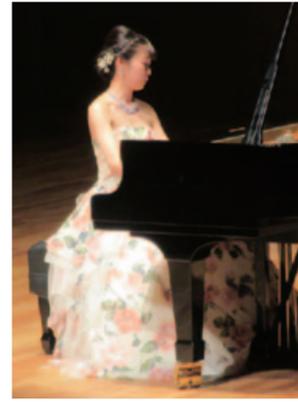
光(照明)も強く印象に残った。これがNDTのステージなのである。クリスタル・バイト振付の「ザ・ステイトメント」(19分)もユニークな作品だった。音楽ではなく、会話(英語)に合わせ、男女4人がスタイリッシュなダンスを展開する。どうい

批評家にとって、世界最高レベルのステージを見ることは、地元のダンスを評価する上で貴重な体験になる。NDT公演会場では、多くの地元ダンサーと顔を合わせた。お互い、大いに勉強し、名古屋のダンスシーンを盛り上げたいものである。

真摯な音楽への姿勢があふれた



水野 亜美(ソプラノ)



岡田 清花(ピアノ)

「アベック変奏曲」を演奏した冨田明は、まるで練習室で演奏するように、細密な旋律に取り組んだ。実に清楚で、好感の持てるピアノソートである。ラストに「魔笛」の愛の喜びは露と消え、ほかを歌った水野亜美(ソプラ

ノは華やかなドレスで長身を飾ったが、真摯に音楽と向き合ってきたことは選曲からもうかがえる。他の4人についても同様で、優れた指導者に導かれてきたことがよく分かる。ただ残念だったのはガラ空きの客席。主催者には、もっと真剣に集客の努力をしてほしい。何より聴衆がアーティストを育てるのだから。

強い光彩を放った3人の鍵盤奏者

名古屋音楽大定期

名古屋音楽大学の定期演奏会を聴いた(7月4日・芸術劇場コンサートホール)。鍵盤7、管4、声楽2、マリリン・バー、作曲1の15人が出演したが弦楽器は0だった。強く印象に残ったのは3人の鍵盤奏者、エレクトーンの高木悠衣、ピアノの佐藤祐希と岡田清花だ。

高木はプロコフィエフの「ピアノソナタ第3番」を編曲し演奏した。1台でオーケストラ並の機能を発揮するエレクトーンの性能を最大限に引き出した。他の曲も聴きたい。スクリャーピンの「ピアノソナタ第4番」を演奏した佐藤は、ヘアスタイル、ファッション、演奏のすべてをショーアップ。ミニアタックな芸術空間に聴衆を引き込んだ。まさにプロの技である。

その高木とは対照的に、ピアノ本来の華やかさを発散させたのが、シヨパンの「ピアノソナタ第3番」を弾いた岡田だ。恵まれた容姿、演奏中に首を振るクセまでもがチャーミングだった。管の4人はいずれも秀逸。マリリンの高木様子は、特製のマレットを使い阿倍圭子の「祭の太鼓」を披露。文字通り、和太鼓を叩くように演奏した。

小芝居は不要、欲しいのは字幕

二期会分ラコンサート



愛知智絵と永井秀司

名古屋二期会が「サマーフェスティバル・ガラコンサート」(7月7日・芸術創造センター)を開き、音楽家20人がアリアを歌った。前半は11人が独唱、後半は「椿姫」と「ラ・ボエーム」のハイルイトを上演した。

創は(いつ)も使う電気文化会館に比べ、広くて音響が悪いので、ソリストの会場は、多分は予備知識があったほうがよく理解できると思う。私も忙しいときは、そのまま会場にいってしまいが、できるだけその曲のCDやレコードで、予習してから出かけるようにしている。名フィルもセントラル愛知も、定期公演のプログラムに今回の予習のため曲目解説を掲載している。もちろんPRのためだが、これは役に立つ。名フィルは予習にお勧めのCDまで紹介している。私は、当日に演奏されたテンポ、強弱などに気がなることがあれば、家に帰って確認のため聴き直す復習をすることもあ

多くは音量の調整に戸惑ったようだ。そして気になったのが小道具を多用した演出。音楽家に小芝居は必要ない。それよりも字幕が欲しかった。後半は実績豊かなソリストがそろった。椿姫の愛知智絵(ヴィオレッタ)は培った演技力で永井秀司(アルフレード)を巧みにリード。情感あふれる愛のシーンを演出。「ラ・ボエーム」では平尾憲嗣(ロドルフォ)が深い容姿と心にしみるテノールで、渡部純子(ミンミ)は腰の強いソプラノで悲恋を歌い上げた。

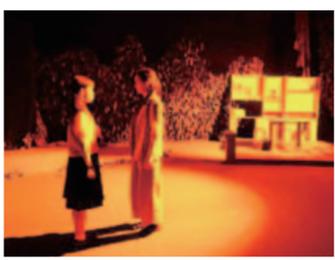
私たちが「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します

コンサートにも大切な予習と復習

予習、復習の大切さは、学校の勉強に限らないよう

ナビロフト企画

揺れ動く心をストレートに表出し



出演は竹市桃香、青木純子、わらしべ長者ら、新人もベテランもいる新鮮な座組みで、俳優たちがそれぞれの新たな魅力に気づくことを狙った。原作は影絵が姉妹を訪ねてくる幻想的なものだが、森が本作に組み込んだ。

劇場プロデュースのオリジナル作品の上演で、地域の演劇シーン活性化を目指す「NABIFLORE」クリエーション企画の

だ要素は、現代的な人々の関係性や若者の自我の葛藤...ファンタジックな演出に頼らず、俳優たちは揺れ動く感情をストレートに表出した。「地域に根差す劇場・演劇活動」の在り方に具体的に取組んだ試み。この意識の継続が、同企画の今後の成果に大きく関わるはずだ。(竹本)

出演は竹市桃香、青木純子、わらしべ長者ら、新人もベテランもいる新鮮な座組みで、俳優たちがそれぞれの新たな魅力に気づくことを狙った。原作は影絵が姉妹を訪ねてくる幻想的なものだが、森が本作に組み込んだ。

問奏曲

Advertisement for '小鳥売り' (The Bird Seller) opera series. Includes cast members like 松原宣子, 坂淳子, 村上尚美 and performance dates on 8/30 and 8/31.

Advertisement for '会員募集' (Member Recruitment) for Nagoya Theater Journal. Includes contact information and details about membership benefits.

Advertisement for '私たちが「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します' (We support Nagoya Theater Journal). Lists names of supporters and their affiliations.

千住真理子
ヤマオーケストラ
2019
ピアノ・大津敦

音環VIII
2019.9.12
三井住友海上 しろかわホール

Set what sound Competition
「ベストソング」コンペティション
2019.9.15
三井住友海上 しろかわホール

上原宏の
☆音楽☆
聴き歩き

オーケストラでは低音部の管楽器としておなじみのファゴットだが、ソロのリサイタルは非常に珍しい。作曲家も知らなかった名前がサンサンス、ライヒャー、それでもファゴットではスタンダー・ドナンバーだと言った。どれも興味深い作品だったが、特に印象的

楽器の魅力、奏者の技量に感心
ファゴット・大津敦
セントラル愛知交響楽団のファゴット奏者、大津敦のリサイタル（7月15日・HITOMIホール）は、初めて聴く曲ばかりで新鮮さにあふれていた。

日本・ハンガリー友好150周年記念
マエストロ 小林研一郎80th 祝賀演奏会 Vol.1

炎のマエストロと18年ぶり、
名門ハンガリー放聲の期待の来日公演!!
この感動を全ての人へ!

小林研一郎指揮
ハンガリー放送交響楽団
Hungarian Radio Symphony Orchestra
日本公演 2019

【名古屋公演】
2019年9月3日(火) 19:00開演 (18:15開場)
愛知県芸術劇場コンサートホール
リスト: ピアノ協奏曲第1番 変ホ長調 (ピアノ: 金子三勇士)
Franz Liszt: Concerto for Piano and Orchestra No.1 E-b major
ドヴォルザーク: 交響曲第8番 長調 op.88
Antonin Dvořák: Symphony No.8 G major op.88
発売日: 2019年4月27日(土) 10時から
料金: S12,000 A9,000 B6,000 C4,000円 (全席指定・税込)
ピアノ: 金子三勇士



西村尚也 (ヴァイオリン) & アンソニア・バケットティ (ピアノ) デュオ
オリサイタル(6月22日・宗次ホール)。実力者同士の素晴らしい共演だった。

活動中の西村。オーケストラとの協奏曲は聴いてきたが、リサイタルでは初めてだった。イタリア出身のバケットティとは初共演のようなが、息の合ったアンサンブルを聴かせた。

とも安定感のある技術と美しい音色の持ち主。互いに主張し過ぎず、協調に徹していた。西村はまだ

30代半ばだが、かなりの完成度がある。この調子で活動を継続してほしい。

多彩な音楽性とサービスピ精神で
ダブルリード
名古屋ダブルリードアンサンブル恒例の「サマーコンサート」(7月9日・熱田文化小劇場)は、「ベルシャの市場にて」

演奏はいたって真面目だが、毎度ユニークな扮装が目立つ。今回はシルクロードに合わせた、エキゾチック(?)な衣装で笑われた。

仲道郁代
ピアノ・リサイタル
～全曲リクエストで贈る華やかなる祝宴～
仲道郁代がしろかわホールリニューアルのために厳選した特別プログラムからお客のリクエストにお応えいたします

9/14(土) 15:00開演 (14:15開場)
三井住友海上 しろかわホール
全席指定 (税込)
S席 6,000円 A席 5,000円
B席 4,000円 U25 2,000円

徳永・堤・仲道
トリオ・プレミア
世界のフルトウソーン・シリーズ vol.8
～日本が誇る3人の名手による超豪華3部公演～

9/15(日) 15:00開演 (14:15開場)
三井住友海上 しろかわホール
全席指定 (税込)
S席 7,500円 A席 6,000円
B席 4,000円 U25 2,000円

オーケストラアンサンブル金沢 第43回 名古屋定期公演
2019年9月25日(水)
19:00開演 (18:15開場)
三井住友海上 しろかわホール

「後宮からの逃走」序曲 K.384
モーツァルト
ヴァイオリン協奏曲 第5番 イ長調 K.219「トルコ風」
ベートーヴェン
交響曲 第7番 イ長調 op.92

6,000円 A席 5,000円
U25以下 全席指定 (税込) 2,000円

廣瀬 恵子
ピアノコンサート
2019 9/16 三井住友海上 しろかわホール

サルタン王の物語
2019.9.28(日) 19:00開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

伊藤香紀
ピアノ・リサイタル
2019.9.28 三井住友海上 しろかわホール

日本歌曲 名古屋波の会 定期演奏会
～日本の心をたたく～
2019.9.29 三井住友海上 しろかわホール

奏でる人を聴きたい人へ 人と音をつ結ぶ
♪ クラシック名古屋
052-678-5310
名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル1F

クラシックコンサートのチケットは
アイ・チケット 0570-00-5310
(10:00～17:00 ※日祝休み)
アイ・チケット web 検索
※お好きな時間にお好きな席を選んでクリック!!
カード決済・コンビニでのお支払いができます。

クラシック名古屋のプレイガイド
「アイ・チケット」
多くのクラシックコンサートのチケット販売から、ホール、座席のことでオペレーターが丁寧に対応いたします。
ホームページからもチケット購入ができる、便利なクラシック専門のプレイガイドです。